

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7975G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

Cisco Unified IP Phone 7975G では、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を拡張する生産性向上機能が用意されています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

次の図で、電話機のボタンとハードウェアを確認してください。



	項目	説明	参照先または問い合わせ先
1	プログラマブル ボタン 	<p>設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話回線およびインターコム回線 (回線ボタン) 短縮ダイヤル番号 (短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む) Web ベースのサービス (個人アドレス帳ボタンなど) 電話機の機能 (プライバシー、保留、転送のボタンなど) <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コール  緑、点滅：コールが保留中  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、サイレント機能がアクティブ、またはハント グループにログイン中  オレンジ、点滅：コールが着信中またはコールが復帰中  赤、点灯：リモート回線が使用中 (共有回線または BLF ステータス) 	<ul style="list-style-type: none"> タッチスクリーンの機能 (P.16) 基本的なコール処理 (P.22) 短縮ダイヤル (P.45) 共有回線の使用 (P.51) BLF の使用による回線の状態の判断 (P.55) インターコム コールの発信と着信 (P.43)
2	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	ハンドセット受け台の調節 (オプション) (P.6)
3	ディスプレイ ボタン 	<p>タッチスクリーンをスリープ モードから戻したり、クリーニングのために無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none">  色なし：入力可能な状態  緑、点滅：無効  緑、点灯：スリープ モードです。 	タッチスクリーンのクリーニングと保守 (P.17)
4	メッセージ ボタン 	サービスによって異なりますが、ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします。	ボイス メッセージへのアクセス (P.79)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ] メニューを開閉します。履歴およびディレクトリにアクセスするために使用します。	履歴の使用 方法 (P.70)
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ] メニューをアクティブにします。	電話機のヘルプシステムの使用 (P.19)
7	設定ボタン 	[設定] メニューを開閉します。これは、タッチスクリーンと呼出音の設定を変更するために使用します。	電話機の設定の変更方法 (P.67)
8	サービス ボタン 	[サービス] メニューを開閉します。	ユーザ オプション Web ページの使用 (P.81)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量(オフフック)、および呼出音の音量(オンフック)を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。	ミュートの使用 (P.31)
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
13	4方向のナビゲーションパッドと選択ボタン（中央） 	<p>メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。選択ボタンを使用して、スクリーン上で強調表示された項目を選択します。</p> <p>ナビゲーション ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 上下にスクロールすると、メニューを表示し、項目を強調表示できます。 • 左右にスクロールすると、複数の列が表示されている場合に水平方向に移動できません。 <p>選択ボタン：ナビゲーション ボタンを使用してスクロールし、行を強調表示してから、次のように使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  を押して、メニューを開きます。 •  を押して、呼出音を再生します。 •  を押して、スクリーンに表示されている他の機能にアクセスします。 <p> (注) 選択ボタンでは、操作は実行されません。</p>	履歴の使用方法 (P.70)
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P.22)
15	ソフトキー ボタン 	タッチスクリーンに表示されたソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	タッチスクリーンの機能 (P.16)
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	ボイス メッセージへのアクセス (P.79)
17	タッチスクリーン	電話機能を表示します。	タッチスクリーンの機能 (P.16)

回線とコールについて

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

- 回線:他の人がコールを発信するために使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。電話機は、最大8つの回線をサポートできます。電話機の回線を表示するには、タッチスクリーンの右側を見てください。回線の数は、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール:各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は1本の回線につき4つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコールアクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.30の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用中心	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。P.51の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。P.30の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	認証されたコール	P.56の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.56の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	BLFで監視された回線がアイドル状態	P.55の「 BLFの使用による回線の状態の判断 」を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	BLF で監視された回線が使用中	P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)	P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF)	P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。P.43 の「インターコムコールの発信と着信」を参照してください。
	一方向のインターコムコール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。P.43 の「インターコムコールの発信と着信」を参照してください。
	双方向のインターコムコール	通話相手がインターコム回線を押して発信者との双方向のオーディオをアクティブにしました。P.43 の「インターコムコールの発信と着信」を参照してください。

タッチスクリーンの機能

次の図は、メインのタッチスクリーンの外観を示しています。アクティブなコールが存在し、いくつかの機能メニューが開いた状態になっています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。
2	プログラマブル ボタンのインジケータ	プログラマブル ボタン  は、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、電話機サービス ボタン、電話機の機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコンについては、このガイドの先頭にあるクイック リファレンス カードの「電話スクリーンのアイコン」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーのラベルは、指で触れると選択できます。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ領域	発信者 ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。この領域の項目は、指で触れると選択できます。 P.14 の「回線およびコールのアイコンについて」 および P.33 の「複数のコールの表示」 を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。このタブを押すと、必要に応じてコール アクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	各タブは、開いている機能メニューを示します。タブは、指で触れると選択できます。 P.18 の「機能ボタンとメニューについて」 を参照してください。

タッチスクリーンの項目の選択

電話機のタッチスクリーン上の項目を選択する方法は3つあります。

タッチスクリーンの項目の選択方法	操作
項目を押す	指で触れて選択できるタッチスクリーンの項目を指で押すか軽くたたきます。 タッチスクリーンを押すときは指だけを使用してください。道具を使用すると画面に傷が付くおそれがあります。電話番号を押すと、電話機でその番号がダイヤルされます。
項目番号を指定する	キーボードで該当する番号を押します。たとえば、メニューの4番目の項目を選択するには、 4 を押します。
項目までスクロールする	ナビゲーションボタンを使用して、項目を強調表示します。選択ボタンを押して項目を選択するか、ソフトキーを押して操作を終了します。

タッチスクリーンのクリーニングと保守

ディスプレイ ボタン  を使用して、タッチスクリーンを無効または有効にすることができます。ディスプレイ ボタンの色によって、タッチスクリーンの状態の変化が次のように示されます。

 緑、点灯：タッチスクリーンはスリープモード

 緑、点滅：タッチスクリーンは無効

目的	操作または状態の説明
クリーニングのためタッチスクリーンを無効にする	 を1秒以上押します。  が点灯します。 スクリーンは、有効にしない限り、約1分間無効になります。
タッチスクリーンを有効にする(無効にした後)	 (点灯) を1秒以上押します。
タッチスクリーンをスリープモードから起動する	タッチスクリーンまたは任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。 システム管理者によって決められた非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープモードに入ります。このモードでは、タッチスクリーンには何も表示されず、ディスプレイ ボタン  は点灯しています。



注意

タッチスクリーンを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用します。液体や粉は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ヘルプ  ディレクトリ  設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	タッチスクリーンで機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。タブは機能メニューが開いているときに表示されます。

電話機のヘルプ システムの使用

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目はタッチスクリーンに表示されます。

目的	操作または状態の説明
メインメニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順• コール機能：コール機能に関する説明や手順
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 を押してから、すばやくタッチスクリーンのメニュー項目を押します。または、メニュー項目を強調表示して  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 を押します。数秒待ってから  をもう一度押すか、またはメインメニューから [ヘルプ] を選択します。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できますが、大部分はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コールバック	折返し	折返し 
コール転送	不在	不在転送 
コール パーク	パーク	パーク 
コール ピックアップ	ピック	ピック 
会議	会議	会議 
会議リスト	参加者	会議リスト 
サイレント	サイレント	サイレント  または サイレント 
コールの終了	終了	コールの終了 
グループ ピックアップ	G ピック	グループピックアップ 
保留	保留	保留 
ハントグループ	ハント	ハント グループ  または ハントグループ 
迷惑呼 ID	迷惑呼	迷惑呼 ID 
ミーティング	ミーティング	ミーティング 
モビリティ	モビリティ	モビリティ 
発信	発信	発信 
その他のグループ ピックアップ	他 Grp	その他のグループ ピックアップ 
品質レポート ツール	品質	品質レポートツール 
リダイヤル	リダイヤル	リダイヤル 
最後の会議参加者の削除	ドロップ	最後の参加者の削除 
転送	転送	転送 
ビデオ モード コマンド	ビデオ	ビデオ 

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。